



令和7年7月1日

各報道機関 御中

未就学児を対象とした食育活動 ～『カラーピーマンの収穫とパンケーキ作り』を開催～

この度、地域資源創成学部食品科学研究室の活動の一環として、カラーピーマンを使った食育活動を社会福祉法人木花こども園で開催することになりましたのでお知らせいたします。(詳細は裏面)

当該研究室では、日頃より『食の機能』をキーワードに教育研究活動を推進しております。この活動の一環として、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることを学ぶ総合的な教育である“食育”に取り組んでいます。今回、宮崎県の代表的な作物であるピーマンに着目し、活動を行うこととなりました。

ピーマンは温暖な気候を好む作物で、宮崎県においては昭和40年頃から栽培が拡大、現在ではその生産量が全国第二位と県を代表する作物となっています。ピーマンは、皮膚や粘膜の健康維持を助けるとともに抗酸化作用を持つ栄養素であるビタミンCを豊富に含む、機能性にも優れた食品です。しかしながら、タキイ種苗株式会社が実施した子供の嫌いな野菜調査(2021)において、ピーマンは嫌いな野菜第3位にランキングするなど、その独特の苦味から子供達には好まれない傾向があります。

当研究室におけるこれまでの食育研究において、定植、栽培、収穫、工作、調理、実食、カルタ、ペープサート等、食を通した様々な経験が、対象食品の嗜好性を向上させることが明らかとなっています。そこで、私たちは、子供達にピーマンを育て食べるという過程を通して「食材のありがたさ」「食べる喜び」を子ども達に楽しみながら知ってもらうとともに、ピーマンに興味関心を持ってもらう機会とすることを目的として、比較的苦味の少ないカラーピーマンを使用します。

当日は、園児と大学生が一緒にカラーピーマンを使ったパンケーキ作り、実食を行います。この食育活動の一環として、今年の4月に園児たちと一緒に苗植えを行っており、今回はこのカラーピーマンの収穫も行います。新たな知識を身に付けるとともに、食のありがたさを知る機会になると考えています。カラーピーマンの定植・栽培・収穫・工作・調理・実食を通して得た経験が、生涯を通じて、食べる力を養う素地を醸成し、当該食育活動をきっかけとして食に対して興味関心を持つ子供達を育成する一助となればと考えております。

つきましては、当日の収穫の様子を取材していただき、記事として取り上げていただけたら幸いに存じます。何かとご多忙中かとは存じますが、宜しくお願い致します。

【問合せ先】

地域資源創成学部(山崎有美)

TEL:0985-58-7468、080-4272-8693(当日)

E-mail: yamasakiy@cc.miyazaki-u.ac.jp

【発信元】

企画総務部総務広報課

TEL:0985-58-7114

E-mail:kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp

別紙【詳細】

○日 時：令和 7 年 7 月 11 日(金)9:30~11:00

○場 所：社会福祉法人木花福祉会 木花こども園

(〒889-2151 宮崎県宮崎市大字熊野字西ノ原 6777 番地 3)

○主 催：宮崎大学地域資源創成学部 食品科学研究室

○対 象：こども園年長児(38名)

【会場:木花こども園】

〒889-2151

宮崎県宮崎市大字熊野字西ノ原 6777 番地 3

※Google MAPで検索した場合、旧園舎の場所がスポットされることがありますのでご注意ください。



▼参考:令和 6 年4月の苗植えの様子

